平成 30 年度　東京都内湾水生生物調査　10 月鳥類調査　速報

●実施状況

平成 30 年 10 月 2 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 23.6～29.4℃、北～南の風、風速 0～1.0m/sec であった。調査当日は小潮で、干潮が 15 時 11 分（130cm）、満潮は 20 時 36 分（165cm）であった（東京都港湾局のデータ）。各地点の概況を下表に示す。9 月 30 日の台風 24 号の影響が見受けられた。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
作業時刻	10:10-11:10	14:31-15:29	12:10-13:30
天候	晴れ	晴れ	晴れ
気温(℃)	23.6	27.5	29.4
風向	北	-	南
風速（m/sec）	0.5	0	1.0
備考	水は濁っていた。	干潟の干出は少なく、水は濁っていた。魚の死骸が多く打ち上げられていた。	魚の死骸が多く打ち上げられていた。死体目当てにカラスの群れが干潟に降りていた。トビハゼの稚魚が干潟を跳ねていた。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
数が多かった鳥類上位 2 種	カワウ(173 羽) アオサギ(21 羽)	ユリカモメ(50 羽) カワウ(26 羽)	ウミネコ(2198 羽) カワウ(541 羽)
その他の鳥類	カルガモ、コサギ、イソシギ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ハクセキレイ	カルガモ、アオサギ、イソシギ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、チョウゲンボウ、ハクセキレイ	カルガモ、コガモ、サギ類(アオサギ等)、シロチドリ、メダイチドリ、シギ類(アオアシシギ等)、カモメ類(オオセグロカモメ等)、ミサゴ、トビ、ハクセキレイ
備考	・重要種として 2 種を確認(コサギ、イソシギ)。 ・鳥の島護岸でカワウ、アオサギ、カルガモが休息。 ・カワウ、サギ類の繁殖活動は終了しており、第六台場及び鳥の島で、巣の利用は見られなかった。	・重要種として 2 種を確認(イソシギ、チョウゲンボウ)。 ・干潟でカワウ、アオサギ、カモメ類（ユリカモメ等）が休息。 ・チョウゲンボウが干潟上空を飛翔。北東方面へ飛び去る。	・重要種として 16 種を確認(ダイサギ、コサギ、シロチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、ミサゴ、トビ)。 ・干潟や水面でカワウ、カモメ類(ウミネコ等)が休息。 ・コガモがヨシ原の際で休息。 ・干潟や岩礁でシギチドリ類(ソリハシシギ、シロチドリ等）が採餌。 ・ミサゴが干潟に降りて採餌。

●出現種と個体数

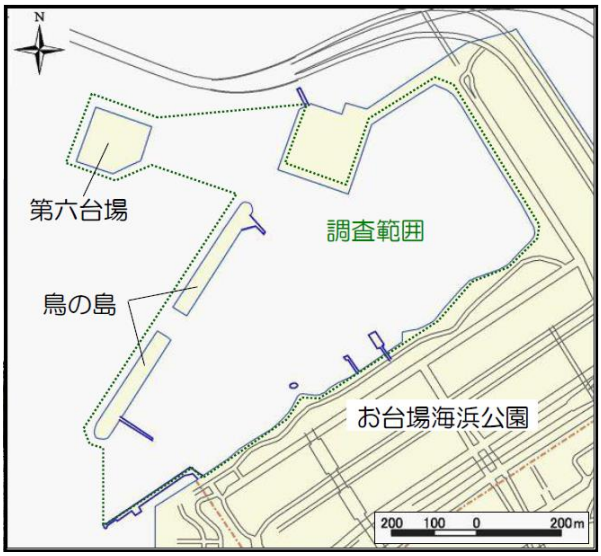
No.	目	科	種名	5月								6月								8月								10月								重要種 選定基準			
				お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			お台場海浜公園				森ヶ崎の鼻	葛西人工渚			文化財[*1]保護法	種の[*2]保存法	環境省[*3] RL 2018 鳥類	東京都[*4] RL 2010 (区)
				第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計		範囲内	沖合	合計				
1	カモ	カモ	カルガモ	4	8	1	13		5		5	7	5	2	14	2	8		8	1			1	8	1		1		17		17	17	3		3				
2			コガモ													1																	8		8				
3	カツオドリ	ウ	カワウ	382	160	8	550	72	529		529	408	140	9	557	421	1438		1438	18	77	13	108	921	1764	174	1938	24	142	7	173	26	538	3	541				
4	ペリカン	サギ	ゴイサギ	5			5					19			19					4			4																
5			ササゴイ													1																							CR
6			アオサギ	20	12		32	4	6		6	27	14	1	42	16	12	1	13	7	6		13	12	15		15	1	20		21	10	27		27				
7			ダイサギ	3			3	3	14		14	4			4	3	10		10	8			8	8	35		35						27		27				VU
8			チュウサギ																	1			1		1		1											NT	VU
9			コサギ	29			29	6	16		16	204		2	206	10	10		10	52			52	8	14		14			1	1		6		6				VU
10	ツル	クイナ	バン						1		1						1		1																				VU
11	チドリ	チドリ	ムナグロ																					5															VU
12			コチドリ					2	1		1					2	1		1																				VU
13			シロチドリ					1								1									31		31						24		24			VU	VU
14			メダイチドリ						1		1																						5		5		国際		NT
15		ミヤコドリ	ミヤコドリ						34		34						25		25																				EN
16		シギ	チュウシャクシギ					2	9		9																						3		3				VU
17			ダイシャクシギ						1		1						1		1						1		1						4		4				CR
18			ホウロクシギ																														1		1		国際	VU	CR
19			アオアシシギ						6		6																						18		18				NT
20			クサシギ																						1		1												EN
21			キアシシギ		4	4	8	4	8		8														1		1						2		2				VU
22			ソリハシシギ																						4		4						5		5				VU
23			イソシギ		2	1	3	2					1		1						3		3	2					4	1	5	6	2		2				VU
24			キョウジョシギ	15	104	77	196	41	8		8																						1		1				VU
25			ミユビシギ						28		28																												EN
26			トウネン																						1		1						1		1				NT
27			ハマシギ						14		14																						1		1			NT	NT
28		カモメ	ユリカモメ					4	1		1													2								50	9		9				
29			ウミネコ			2	2	2	38	143	181			1	1	10	117	3	120	23	4	3	30	123	817	7	824		1	6	7	21	1975	223	2198				
30			セグロカモメ																													1	3		3				
31			オオセグロカモメ														1		1					1	5	39	44		1		1	5	78		78				
32			大型カモメ[A]							4	4																												
33			コアジサシ			6	6	22	158	7	165	1			1	186		10	10																		VU	EN
34			アジサシ						2		2															1	1												
35	タカ	ミサゴ	ミサゴ															1	1														3		3			NT	EN
36		タカ	トビ														3		3					1									1		1				NT
37	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ																													1							EN
38	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	2			2	1				1			1	3				1			1	2	1		1	1		1	2	1	1		1				
計 8目11科32種				8 種	6 種	7 種	12 種	14 種	20 種	2 種	20 種	8 種	4 種	5 種	10 種	12 種	12 種	4 種	14 種	9 種	4 種	2 種	10 種	12 種	15 種	4 種	16 種	3 種	6 種	5 種	8 種	10 種	25 種	2 種	25 種	0 種	2 種	6 種	26 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録　改訂第7版」（日本鳥学会,2012)に従った。
A:大型カモメに分類されるセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数には数えない。
*1文化財保護法:
*2種の保存法: 国際:国際希少野生動植物
*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧
参照 :http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html
環境省自然環境局野生生物課. 2018年. 環境省第4次レッドリスト.
*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、留:留意種
東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）～東京都レッドリスト～2010年版.

＜お台場海浜公園＞

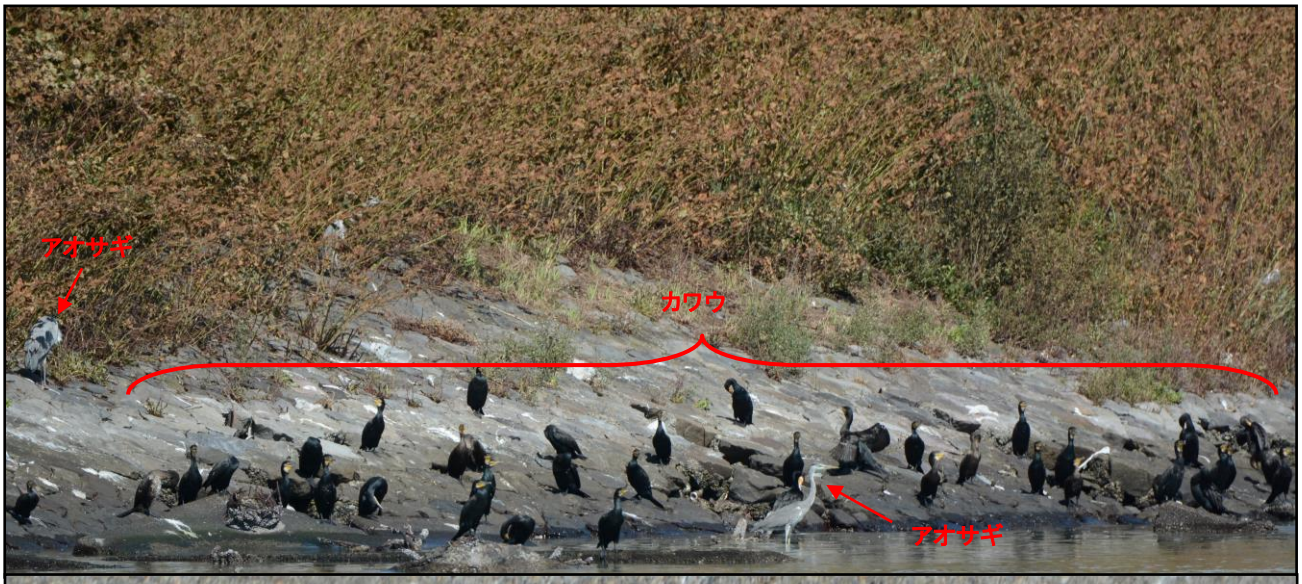
〇調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウ、サギ類の営巣は終了していた。



〇出現種（カワウ・アオサギ・カルガモ）

鳥の島の護岸で休息。第六台場、鳥の島ではカワウ・サギ類の繁殖活動は終了しており、利用されている巣は見られなかった。カルガモは池や川でよく見られるが、海岸にもよく出没する。



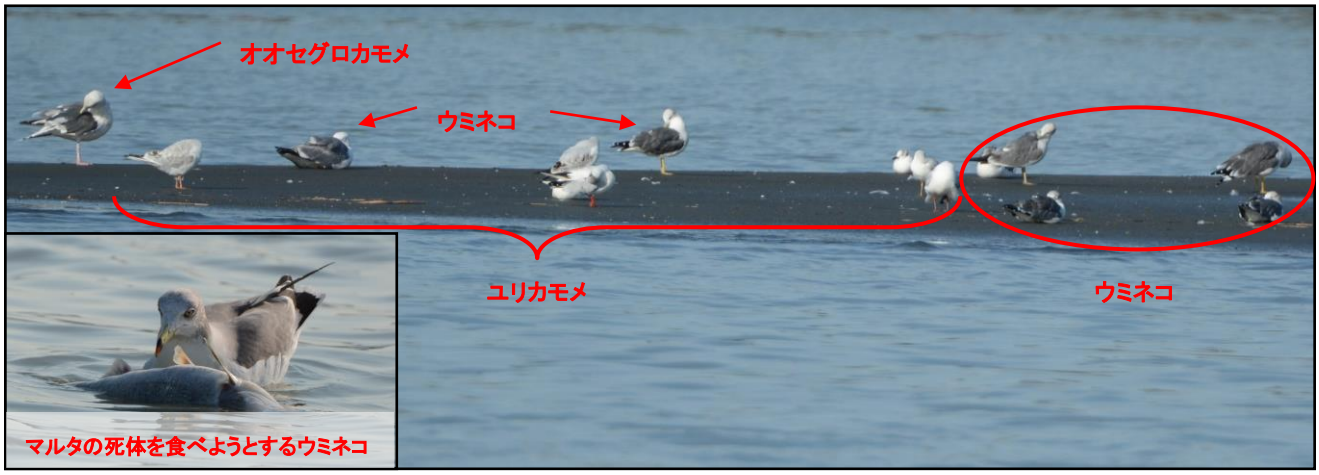
＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

最干潮時刻だが干潟の干出は少なかった。

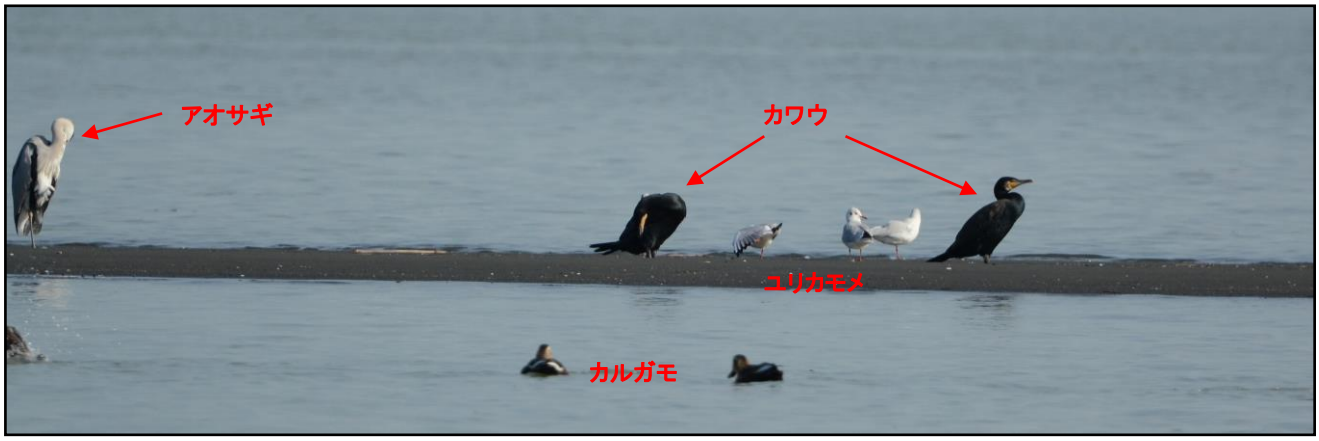
○出現種(ユリカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメ)

干潟でユリカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメが休息。ユリカモメの足は赤色、ウミネコは黄色(幼鳥はピンク色)、オオセグロカモメはピンク色である。台風の影響で魚の死体が多く見られ、ウミネコが死体を食べる姿も見られた。



○出現種(カワウ、アオサギ、カルガモ)

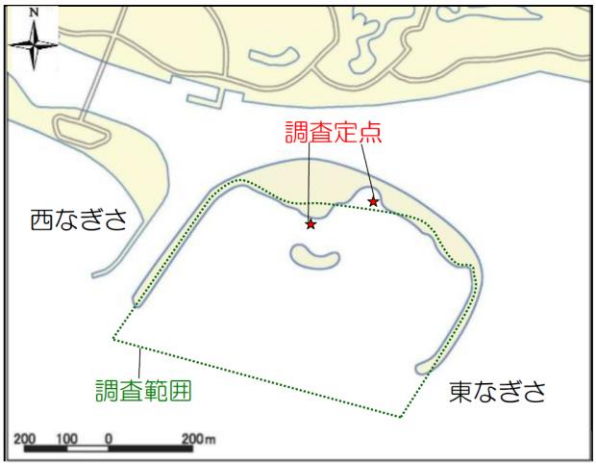
アオサギとカワウは干潟で休息。カルガモは水面を泳ぐ。



＜葛西人工渚＞

○調査地点の状況

干潟は干出していたが、潮がやや高めであった。



○出現種（アオアシシギ）

足が長くスマートな体形をしたシギ。小群で行動することが多く、カニやゴカイ、小魚などを捕食する。「チョーチョーチョー」と口笛のようなきれいな声でよく鳴く。主に旅鳥として渡来し、干潟、河口、水田、河川などで見られる。東京都レッドリスト(2010)で準絶滅危惧(NT)に指定されている。

○出現種（ホウロクシギ）

大きく下に曲がったくちばしが特徴の大型のシギ。旅鳥として広い干潟に渡来する。カニを好み、くちばしを巣穴に突っ込んで捕えることもある。種の保存法で国際希少野生動植物種、環境省レッドリスト(2018)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。

○干潟利用状況

ウミネコの群れが休息していた。群れの中にカワウ、オオセグロカモメ、ユリカモメも混ざって休息していた。岩礁及び際の干潟ではシロチドリ、メダイチドリが採餌。

＜その他＞

〇ウミネコの繁殖

平成 30 年 5 月 16 日、6 月 13 日の調査で繁殖を確認した構造物上では、今回ウミネコは確認されなかった。

繁殖を確認した構造物

＜**トピックス**＞

〇チョウゲンボウ

【東京都レッドリスト(2010)絶滅危惧ⅠB 類(EN)】

上空を通過したのみであったが、森ヶ崎の調査でチョウゲンボウが確認された。断崖に営巣するが、近年は都市部のビルや橋などの人工物に営巣する事例も増えており、市街地で見かける機会も多くなっている。ハトくらいの大きさで一見可愛らしいが、ハヤブサの仲間なので、小柄とはいえ立派なハンターである。

ホバリング(停空飛行)をしながら獲物に狙いを定め、急降下してネズミ、小鳥、昆虫などを捕えて食べる。本種はハヤブサの一種であるが、飛翔速度はハヤブサほど速くないとされる。なお、ハヤブサの飛翔速度は急降下時に最高で時速 390 ㎞にも達することもあるとされる。